

立命館経済學

第十五卷 第二号

昭和四十一年六月

内 容

論 説

- 「産業革命」以前における石炭鉱業の形成……………戸 木 田 嘉 久 1
—日本炭鉱労働者状態史のための覚書 (1)—
- 近世における京都室町商人の系譜 (1) ……………足 立 政 男 59
- A. スミス D. リカアドオ J. S. ミルにおける
公債に関する理論の展開 III ……………箕 浦 格 良 104
—古典学派における財政思想 (10)—

資 料

- 労働力不足と中小企業の実態 (二) ……………浜 崎 正 規 139
- 学界動向 共同研究室…………… 164

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十四巻・第六号

論説

- 経済学の若干の基本問題……………相澤秀一
E E Cにおける資本移動自由化並びに
企業提携とそれに附随する諸問題…清水貞俊
不均等発展と不均衡発展その②(完)…建林正喜

海外留学記

ミラノからスイスへの旅……………足立政男

共同研究室

資本論の方法論的体系……………梯明秀

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第一五巻・第一号

論説

- 利潤率低下の阻止要因としての
独占の意義と限界……………手島正毅
—私的独占より国家独占への移行法則として—
E E Cの共通エネルギー政策……………清水貞俊
A・スミス D・リカードオ J・S・ミルにおける
公債に関する理論の展開 II……………箕浦格良
—古典学派における財政思想(Ⅰ)—

資料

労働力不足と中小企業の実態(一)……………浜崎正規
—近畿地方のケース・スタディを中心として—

海外留学記

ドイツの旅……………足立政男

学界動向

マルクス主義における〈思想と科学〉・

〈論理と歴史〉……………細見英
共同研究室

発行所 立命館大学経済学会